

## 「引き揚げ」の記憶を次世代へ

引揚記念館に展示・保管している海外からの引き揚げやシベリア抑留などに関する約1万2千点の資料の中から、今回紹介する資料は「スプーン」です。

当館所蔵のスプーンは約80点あります。スプーンとシベリア抑留との関連性が思い浮かばない人もいるかもしれませんが、シベリアでの抑留生活を語る上で、スプーンも大変重要な資料です。

当館に所蔵しているほとんどのスプーンは、シベリア抑留者が自ら作ったものです。満州で捕虜となった兵士たちの所持品は、シベリアへ連行される際に没収されたり廃棄させられたりしました。また、盗難や紛失など、さまざまな理由によって所有者の手元から離れていきました。シベリアの収容所では十分な食事がとれなかったことはよく知られていますが、食べ物を口に運ぶための道具さえもない場合が多く、自作のスプーンなどで食事をしなければならぬ状況でした。

スプーンには白樺の木で作られたもののほか、電線や有刺鉄線などの金属の破片を集め溶かして作ったもの、中には工場の配電盤の一部を材料にしたものもあり、人間らしく食事をするために知恵を絞



スプーン

▲女性の姿

り、身の回りにあるもので苦労して作った抑留者の姿と気持ちがしのべれます。

また、持ち手に女性の姿をあしらったものや細部の装飾にこだわったもの、名前を刻んだものなどもあります。これは、極限の状況に置かれながらも、装飾を施し自己を表現することで心を慰め、人間としての尊厳を保ち、苦しい状況を乗り越えようとしたものと推察されます。

引揚者の回想録にはスプーンについて「食べるための唯一の道具で特に思い出深いもの」「貴重なパンと交換して手に入れた」「苦労をしたしるしとして家宝にしていた」などと記されています。スプーンはシベリアでの苦労とともに過ごした“戦友”であり、帰国後も大切にされ、そこに込められた思いを次世代へ伝えてくれています。

▶詳しくは、引揚記念館（☎68・0836）へ。



## ドクターTのひとりごと

その⑨ 子育て・教育環境を重視するまちづくり

現在、わが国では少子高齢化と人口減少が進行し、地方において特に顕著で、加えて若者の都会への流出もあり、人口減少対策が地方自治体の重要な課題である。舞鶴市においても1年間に人口が約750人減少している。そうした中、より多くの若者に定住してもらうためには、雇用の創出に加えて、子育て・教育環境の充実が重要である。舞鶴市では、保育園や幼稚園の待機児童はなく、今後、子育て環境のさらなる充実のために、公立保育所と子育て交流施設の新規整備を進めていく。平成25年度には、いじめ・不登校対策の充実、放課後児童クラブの整備、すべての小・中学校へのエアコン完備、中学生の学力向上を目指す夢チャレンジサポート事業、中学校給食実施校の拡充、高等教育機関等への支援による学力を高める取り組みなどの事業を予定している。子どもの得意とする分野を最大限に伸ばし、職業選択の幅を広げなければならない。そして、子どもが中学生になったら保護者と教師は子どもの将来の職業について真剣に話し合うことが望ましい。その際に、行政としてできるだけ地元で職業を見つめることができるよう努力したいと考えている。

## まいづる花図鑑 79

### 【トキワイカリソウ】 (メギ科) 見ごろ3~4月頃



落葉樹林の下や林の明るい場所に生える多年草で本州中部以西の日本海側に多い。高さは20~50cmで葉は3本に枝分かれし、それぞれに3枚の小葉を付ける。小葉は卵形で先はとがる。

春早く、2cmほどの突起がある十字型の花が咲き、舞鶴では白・ピンク・紅紫色などが見られる。

名前の由来は、冬でも葉が枯れず、花の形が船の「いかり」に似ていることから。

#### 【協力】

瓜生勝朗 市文化財保護委員（植物分野）

## 防災ひとくちメモ

～津波警報が変わります～

津波警報は、津波による災害の発生が予想されるときに発表される重要な情報です。

気象庁では、新たな津波警報の運用を3月7日（木）から開始します。

#### 【新しい津波警報・注意報の分類と取るべき行動】

	予想される津波の高さ	巨大地震の場合の表現	取るべき行動
大津波警報	10m超	巨大	◇沿岸部や川沿いにいる人は、直ちに高台など安全な場所へ避難 ◇津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れない
	10m		
	5m		
津波警報	3m	高い	◇海の中にいる人は、直ちに海から上がって海岸から離れる ◇津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしない
津波注意報	1m		

▶詳しくは、京都地方気象台（☎075・841・3006）へ。



## ごみブクロウの『エコな生活ホーホー』教えます!

春先は何かと買い物の機会が増える時期。資源を大切にするためにも、エコマークやグリーンマークなどが付いた環境にやさしい商品を選ぶよう!

地球にやさしい商品選び

ごみブクロウ流「エコなお買物」

◀エコマーク  
(環境への負荷が少ないと認められた製品に表示)

◀グリーンマーク  
(古紙を再生利用した製品に表示)

▶詳しくは、生活環境課（☎66・1005）へ。

## 防災行政無線を拡充整備

災害時などに、市民の皆さんへ迅速かつ確実に情報伝達を行うため、これまで整備していた地域に加え、現在、「防災行政無線」の拡充整備を市内の主な避難所(39箇所)で進めています。防災行政無線は、屋外に設置している拡声器を通じて緊急地震速報や気象警報発表の情報、避難情報などをお知らせするもの。また、今回整備するものは、市役所や防災センターとの双方向の通信ができます。運用開始は3月下旬を予定。

《試験放送を実施》試験放送を3月中旬から避難所ごとに順次実施。3月下旬には一斉に実施します。

#### 【防災行政無線を新たに整備する箇所】

大浦小学校	若浦中学校	朝来小学校
志楽小学校	白糸中学校	新舞鶴小学校
三笠小学校	青葉中学校	倉梯小学校
倉梯第二小学校	与保呂小学校	中舞鶴小学校
和田中学校	城北中学校	明倫小学校
吉原小学校	余内小学校	池内小学校
中筋小学校	旧青井小学校	福井小学校
城南中学校	高野小学校	旧岡田中小学校
旧由良川中学校	大浦会館	東公民館
中総合会館	西支所	加佐公民館
南公民館	東体育館	舞鶴高専
東舞鶴高校	東舞鶴高校浮島分校	西舞鶴高校
日星高校	ポリテクカレッジ京都	文化公園体育館

▶詳しくは、危機管理・防災課（☎66・1089）へ。

## 図書館だより ～ 今月のおすすめ本 ～



#### 傾聴ボランティア体験記

ホールファミリーケア協会(編) 相手を尊重しながら、じっくり話に耳を傾ける傾聴ボランティア。東日本大震災の被災地や病院、福祉施設、個人宅での活動体験をつづる。施設訪問時や認知症高齢者への傾聴ポイントなど、実践のためのヒントも紹介。(東)



#### 気になる科学

調べて、悩んで、考える

#### 元村有希子

「放牧中のウシや休息中のシカの多くは、南か北を向いているらしい」「モーツァルトを聴かせたお酒はおいしくなるのか?」「iPS細胞・山中教授の「滑る話」とは?」。毎日新聞の科学部記者(本人は文系)による理系コラム。(西)

▶詳しくは、東図書館（☎62・0190）

西図書館（☎75・5406）へ。